



かなおよしのぶ 活動報告

6月本会議での一般質問の内容

住みなれた地域で安心して暮らせる 障害者支援について

日常生活用具給付対象種目への追加について

発達障害・精神障害者も対象になる日常生活用具として**イヤーマフ、デジタル耳栓**を対象種目にできないか。負担軽減においても給付対象種目への追加について、市の見解は。

(明石市の答弁要旨)

日常生活用具は新たな種目の追加のほか、障害等級や年齢等の要件緩和による給付対象者の拡大や基準額の増額など様々なご要望をいただいているところである。そのため給付種目の追加に当たっては、対象者の多い、少ないにかかわらず、その有効性や必要性、価値と価格等を総合的に検討する必要がある。イヤーマフやデジタル耳栓の給付種目への追加は、その他のご要望も含め、他自治体の実施状況や優先順位を踏まえて検討していきたいと考えている。



地域で里親家庭を支える体制の さらなる充実について

障害や発達上の特性を抱える こどもの課題について

障害や発達上の特性を有するこどもが増えている中で、里親家庭への具体的な支援策について

(明石市の答弁要旨)

児童福祉司や児童心理士が、訪問等により里親への専門的な助言等を行う他、医療や療育・福祉機関、教育機関等と連携し、こどもの発達状況に応じた支援計画の策定による計画的な支援を行っている。今後も、障害等の有無にかかわらず、こどもの最善の利益の実現のために、里親家庭が安心して養育を継続できるよう、地域全体で支える体制の強化に取り組んでいく。

あかし里親100%プロジェクト

明石市では、すべての子どもが家庭のぬくもりを感じながら、一人ひとりに望ましい環境で生活できるように、里親を増やす取り組みをしています。また、里親を必要とする子どもが、できる限りそれまでの生活環境を変えずに暮らし続けられるように、全小学校区での里親の登録を目標としています。

すべての子どもに家庭のぬくもりを！

1 全小学校区に里親	2 幅広い活躍の場	3 きめ細かい里親支援
市内の全28小学校区に里親家庭の登録を目指します	里親の考えや生活に合わせた活躍の場があります	里親のニーズに応じた様々な支援を行っています

あかし里親100%プロジェクト

里親不在の校区への取組について

里親不在の校区への具体的な取組について、市の見解は。

(明石市の答弁要旨)

地域で活動されている様々な団体の会合で里親制度の説明を行わせていただくなど、地域へ向けたリクルートをより一層積極的に展開していきたいと考えている。里親を必要とするすべてのこどもたちが、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、引き続き取組を進めていく。

住みなれた地域で安全・安心に暮らせる 環境づくりについて

児童の通学路における ハード面・ソフト面の安全対策について

全国的に通学時の児童の列に車が突っ込むなどの事故が多発し、車の逆走などの事故も起きている。本市においても人口増に伴い、車、バイク、自転車が増え、事故の増加が予測される。その対応について市の見解は。
例として、関係機関、学校、コミセン、市役所2Fロビー等での掲示がある。視覚と音声で伝える手段はできないか。

(明石市の答弁要旨)

本市では、信号のない横断歩道などで「歩行者優先」という意識を、市民に浸透させる取組を進めてきた。具体的には「歩行者優先」と記載したマグネット式のステッカーを、本市の公用車に加え、市内のバス、タクシーや、個人の自家用車などに協力いただき、約2500枚を配布することで、市内全域で啓発を行ってきた。今後も、「人優先の意識」が浸透するよう、効果的な手法を検討していく。



注意表示の交換で見やすくなりました
担当課の迅速なご対応ありがとうございます

第5回 市政個人報告会

3月29日(土)、山手台において、市政個人報告会を行いました。
地域の皆さんと一緒に課題の抽出。様々なご意見、アイディアをいただきました。世代を超えて皆さんが日々感じていることを率直にお話しくださしました。これからその課題とさらに向き合い、また地域の皆さんに報告させていただきたいと思います。

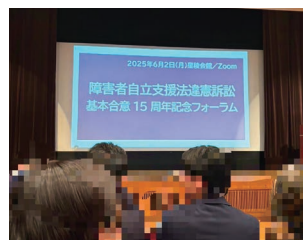
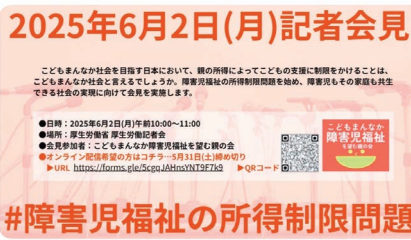
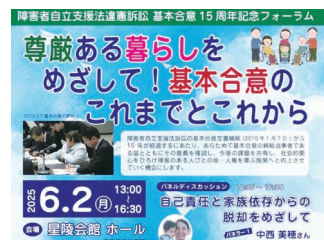


市民の会 市政報告会

5月11日(日)、あかし市民ひろばにて、市民の会の議員と共に市政報告会を開催しました。泉房穂 前明石市長をゲストにお招きし、ご意見をいただきました。
私は請願トピックで、児童通所サービス(児童発達支援・放課後等ディサービス)の所得制限撤廃について、「意見書採択に関する請願」が全会一致で採択されたこと、災害時の支援について報告しました。



障害者自立支援法違憲訴訟基本合意15周年記念フォーラム



6月2日(月)、シンポジウムに参加させていただきました。

どこに住んでいても安心して過ごせる制度が必要であり、望む暮らしを支えていけるようにすることが必要。記者会見を後ろから聞かせていただき、親の所得によってこどもの支援に制限をかけることは、こどもまんなか社会といえるのか、家族の悲痛な声に国はしっかりと耳を傾けていただきたいと強く思います。これからも活動を応援します。



大久保南校区まちづくり協議会の定期総会に出席。
スクールガードについて、ボランティアの確保等が大変であることなど伺いました。また、信号のない交差点など危険箇所があることを教えていただきました。何か出来ることはないか関係者の方々と相談していきます。



石川県かほく市から塚本議員が明石市を視察。「明石こどもセンター」のさとおや担当課から取り組みについてご説明をいただきました。
福祉を含めて様々な取り組みをされている議員の先輩であり、能登半島震災のボランティア活動も熱心にされています。



令和7年第52回明北祭「青春煌彩」
多くの皆さんが来場されていました。私はボランティア部の皆さんの活動を教えていただきました。これからも活動に注目しています。



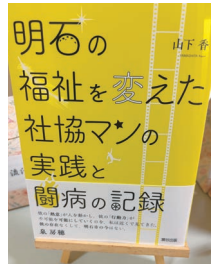
就職フェアin明石
こんな制度、取り組みがあったら…人材確保について、事業所の方のお話を聞かせていただきました。福祉科の先生にもお会いできました。



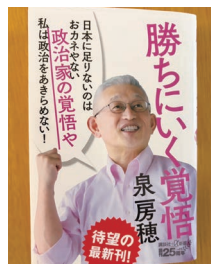
(相談専門員との懇談)
障害者の65歳問題について
本人の希望や必要に応じた介護サービスと障害サービスの併用支給、また、移行期間を設けるなどの配慮が必要なことなど、痛感しました。

あかし動物センターのパネル展
(市役所 本庁2階ロビー)
委員会で私が提案したパネル展が実現しました。

明石国際アクアスロン大会に山中議員に声をかけいただき参加。今回で3回目のボランティア参加になります。高校生ボランティアの皆さんとエイドを担当。参加選手が必死の中でも楽しんでおられる姿と高校生ボランティアの若さ優しさ力強さに感動しました。



亡くなられた大先輩の奥さんが書いた書籍



泉さんに出会い
今の自分がある

